

東海大学医学部付属病院では、  
受診時に患者さんから得られた診療情報等を  
共同研究機関に提供して下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。  
当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

### 【研究課題名】

Spinal extradural arteriovenous fistula の分類と各疾患群における臨床症状、血管構築、治療成績の検討：全国調査

### 【研究の目的】

下記の診療情報等を利用し、脊髄硬膜外動静脈瘻を解明することを目的とした共同研究を実施するためです。

### 【研究の対象となる方】

2011年1月1日 から 2020年12月31日 までの間に、  
当院の脳神経外科で脊髄硬膜外動静脈瘻の治療／手術を受けられた方です。

### 【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2024年4月30日 まで

### 【研究に用いる診療情報等の項目】

- 診療情報等：診断名、年齢、性別、身体所見、脳血管撮影所見

### 【情報の提供先・提供方法】

上記の診療情報等を大分大学医学部附属病院放射線部へ電子的配信にて提供します。

### 【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

### 【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- 研究代表機関：大分大学医学部附属病院
- 研究代表者：放射線科 准教授 清末 一路

### 【研究分担施設及び各施設の研究責任者】

研究分担施設	研究責任者
聖路加国際病院神経血管内治療科部長	新見 康成
筑波大学脳神経外科脳卒中予防・治療学講座教授	松丸 祐司
岡山大学脳神経外科助教	平松 匡文
東海大学脳神経外科講師	Kittipong Srivatanakul
藤田保健衛生大学脳卒中センター教授	中原 一郎
虎の門病院脳神経血管内治療科部長	鶴田 和太郎
小倉記念病院脳神経外科部長	波多野 武人
広南病院血管内脳神経外科部長	松本 康史
永富脳神経外科病院放射線科部長	堀 雄三
久留米大学放射線医学講座講師	田上 秀一
福岡大学筑紫病院脳神経外科教授	東 登志夫

### 【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5276）

研究責任者 脳神経外科 キッティポン・スィーワッタナクン

問い合わせ担当者 脳神経外科 重松秀明